

平成25年度多摩区地域課題対応事業一覧表

平成25年度多摩区地域課題対応事業費予算額	69,290千円
-----------------------	----------

I 安全・安心まちづくり事業費 5,576千円 (◎は新規事業、○拡充事業)

1	多摩区安全・安心まちづくり推進事業 1,366千円 【危機管理担当】	安全で安心なまちづくりを推進するため、区民・地域、警察、消防、行政が連携し、防犯、防火、交通安全、放置自転車対策等の活動に取り組む推進体制を整備し、ホームページを活用した地域安全情報の発信、パトロール支援、路面標示や巻き付け式電柱幕による環境改善のほか、防犯セミナーや防犯出前教室を実施する。 1,366千円（事業実施委託料985千円、消耗品費381千円）
2	○ 市民防災活動支援事業 715千円 【危機管理担当】	地域防災活動の中心的役割を担う自主防災組織の育成と区民等の防災意識の向上を図るため、防災フェア、防災セミナー、日赤救急法基礎講座を開催する。また、各避難所運営会議に避難所運営ゲーム（HUG）を使用した訓練を導入し、地域防災力の向上を図る。 715千円（事業実施委託料）
3	まちなか交通安全教室開催事業 285千円 【危機管理担当】	学生を相手に行ってきた自転車の交通安全教室の対象を広げ、一般の住民を巻き込んで開催し、少しでも多くの方々の目に触れさせることで、交通安全意識の高揚を図る。その手法として、スケアードストレート（恐怖を直視させる）方式を取り入れ、スタントマンの実演による交通事故の再現を観覧者の目の前でを行い、安全で確実な自転車の乗り方等ルールとマナーを習得させる。 285千円（事業実施委託料）
4	◎ 自転車利用マナーアップ促進事業 ※区民会議関係 316千円 【危機管理担当】	多摩区内の小中学生に対する交通事故防止、交通ルール遵守の普及・啓発の一つとして交通安全標語を募る。なお、優秀作品を記載した看板を作成、効果的と思われる場所へ設置し、地域住民の交通安全意識の普及・啓発を図る。 316千円（消耗品費311千円、報償費5千円）
5	◎ 多摩区本部危機管理機能強化事業費（局区連携事業+区独自事業） 2,894千円（局区連携事業費2,164千円+区独自事業730千円） 【危機管理担当】	災害時において、区本部は地域住民に最も近い場所にあり、さらに、市本部や他の機関との連絡調整を図る上で重要な拠点となるため、区本部機能の強化及び関係機関との連携強化により多摩区全体の地域防災力を向上させる。 2,894千円（需要費2,319千円、事業実施委託料567千円、郵便料8千円）

II 地域福祉・健康づくり事業費 1,995千円 (◎は新規事業、○拡充事業)

1	パサージュたま開催事業 116千円 【地域保健福祉課】	多摩区内の障害者団体並びに生活支援や就労支援を行っている障害者施設及び作業所等の普及啓発活動を通じて、多くの区民に障害福祉への理解と関心を深めてもらうとともに、障害者が地域社会とのつながりを持つことを目的として、年間11回、区役所総合庁舎アトリウムを利用して開催する。また、市政だより、ホームページ、チラシの施設・作業所での配布等により広報を行う。 116千円（消耗品費86千円、郵便料30千円）
2	健康づくり推進事業 365千円 【地域保健福祉課】	多摩区の特徴を活かした場所・もの等によって、幅広い世代が交流し、健康づくり及び食育に対する普及啓発を目的として、①健康づくり普及啓発イベントの開催、②食育イベントの開催、③区民向け講演会の開催、を実施する。 365千円（消耗品費196千円、謝礼金64千円、郵送料他55千円、印刷製本費50千円）

3 ○	精神保健普及啓発事業 182千円 【高齢・障害課】	精神疾患に関する知識や対応方法、地域が抱えている問題点について講演会などを開催するため、会議等を開き、地域が抱えている精神保健に関する問題点について話し合い、内容を検討し、また、多摩区の精神保健に携わる支援者のネットワーク構築も行っていく。さらに、支援者に対しての勉強会なども実施し、多摩区の精神保健に携わる支援者の知識の共有をはかり、より充実した支援を提供することができる地域を目指す。 182千円（事業実施委託料）
4	スポーツ推進委員スキルアップ事業 284千円 【地域振興課】	スポーツ推進委員（体育指導委員）が各担当地域8地区を健康づくりの推進役として活躍できるよう、指導技術のスキルアップを図る。 284千円（事業実施委託料）
5 ◎	パートナーシップ連絡会開催事業 1,048千円 【地域保健福祉課】	地域で活動する人がお互いの活動と顔を知り、普段の活動の中で又は一住民として感じている課題・困りごとなどについて意見交換をしながら、高齢者や障害者、こども等の枠を越えて地域の課題として共有し、地域でのつながりを深めることを目的とする。地域の課題としてよく挙げられる「担い手づくり」「効果的な情報発信」などをテーマとしてワークショップを実施、話し合うことを通して、情報の共有化や活動の活性化を図っていく。 1,048千円（事業実施委託料998千円、郵便料34千円、消耗品費16千円）

III 総合的なこども支援事業費 14,570千円 (◎は新規事業、○拡充事業)

1 ○	多摩区こども総合支援連携会議事業 2,537千円 【こども支援室】	区におけるこども・子育てに係る市民団体・グループと区内こども関連施策実施機関とのネットワークを形成し、協力・協働による連携調整機能の強化を図る。また、庁内の検討会議と連動し「多摩区こども支援基本方針—たまっ子プラン—」に基づいた各団体・機関・関係部署のネットワークを活かした活動を具体化し、地域で子育てを支援する仕組みづくりを行う。 2,537千円（事業実施委託料2,468千円、郵便料37千円、食糧費14千円、消耗品費12千円、会場借上料6千円）
2 ○	多摩区幼・保・小連携事業 307千円 【こども支援室】	発達の連続性をふまえた子どもの育ちやひとり一人の子どもの成長を一体的に支援するために、区内の幼稚園・保育所等・小学校が連携を図り、情報交換や保育体験等を実施し支援体制作りを進める。連絡会議や交流事業を通し、区内の幼稚園、保育所等及び小学校の職員が相互に理解を深め、幼児・児童に関する諸課題等について話し合い、情報共有や交流を行いながら、相互協力・連携を進める。 307千円（印刷製本費126千円、郵便料78千円、謝礼金40千円、消耗品費32千円、食糧費24千円、会場借上料7千円）
3 ○	公立保育所の地域支援推進事業 1,356千円 【こども支援室】	待機児解消に向けた対応策として区内認可保育所の整備を進めているなかで、民間保育所での人材育成、公立保育所での子育て支援ニーズへの対応強化が必要とされている。それらに適確に 대응していくために、保育の質の底上げを目的とし、公立保育所6か所7園が「公立保育所の地域支援推進事業」として具体的に次のような事業を行う。 (1) 地域への子育て支援事業 ①保育体験 ②こどもの発達に関する相談 ③プール開放・水遊びの提供 (2) 区内保育所等職員への人材育成事業 ①職員の保育見学及び交流研修 ②園児と職員の保育交流 ③行事支援 ④区内保育所等職員のスキルアップ研修 1,356千円（消耗品費829千円、謝礼金200千円、郵便料135千円、事業実施委託料112千円、賄材料費48千円、会場借上料32千円）

4	<p>こども・子育て普及啓発事業</p> <p>210千円 【こども支援室】</p>	<p>地域子育て支援施策として、保護者の子育て不安及びストレスの軽減や、社会が一丸となって子育てを支援していく地域づくりを目的に、関係機関・団体等との連携や子育て支援ネットワークの場等で今日的課題として取り上げられたテーマを中心に、地域全体に向けて、子育てや子育て支援への理解を深めてもらうための普及啓発の講演会や催し等を実施する。</p> <p>210千円（謝礼金160千円、消耗品費23千円、会場借上料18千円、保険料6千円、郵便料3千円）</p>
5	<p>スーパーバイズによる相談機能強化事業</p> <p>262千円 【こども支援室】</p>	<p>年々こどもの相談が増加している状況で、多問題ケースに対して問題を軽減し、子どもの健やかな育成を支援するために、相談過程についてケースの状況の分析・見立て・支援方法などの助言を受け、ケース支援の充実と併せて職員のスキルアップを行う。また、関係機関からの事例提出や参加により、機関連携の強化を図る。</p> <p>262千円（謝礼金260円、消耗品費2千円）</p>
6	<p>親と子の集いの場づくり事業</p> <p>617千円 【こども支援室】</p>	<p>家庭で保育している就学前の親子を主な対象に、親の育児不安やストレスの軽減及び親同士の交流・仲間作り・子育てネットワーク作りを目的とし、不特定多数の未就学児親子が気軽に参加し集う場の提供や子育て情報の提供など、こどもが安全に遊べる環境整備として安全マットと玩具の貸し出しを行い、地域の子育て支援環境の充実の一助とする。</p> <p>(1) 「ママとあそぼうパパもね」 (2) 「安全マット・玩具の貸し出し事業」</p> <p>617千円（消耗品費314千円、保険料198千円、謝礼金105千円）</p>
7	<p>多摩区「親と子の育児園」事業</p> <p>1,655千円 【こども支援室】</p>	<p>0歳から3歳までの家庭で保育をしている親子を主な支援対象として、育児や父親参加等子育てについての学習や交流の機会を提供し、子育て力を養うことを目的とする。また、地域の子育て支援機関の連携を図り、子育て支援の仕組みづくりを強化する。</p> <p>(1) 「親と子の育児園」事業 (2) 子育て塾「HUG組」（はぐくみ）事業</p> <p>1,655千円（事業実施委託料1,635千円、消耗品費20千円）</p>
8	<p>子育て支援者養成事業</p> <p>992千円 【こども支援室】</p>	<p>育児不安や虐待予防に対応するため、地域で支援活動に係る支援者を養成することを目的として支援者養成事業を実施する。支援者養成講座として子育てに関する学習の場や育児経験の世代間交流による現状の理解と実践力を養う機会を提供するとともに、区内の様々な子育て支援活動の紹介及び体験実習を行う。また、前年度修了者等との交流会（スキルアップ研修）や人材活用の情報提供を行い、実践活動の支援を行う。</p> <p>992千円（事業実施委託料977千円、会場借上料15千円）</p>
9	<p>多摩区子育て支援サポート事業</p> <p>725千円 【こども支援室】</p>	<p>区商店街連合会との協働により、区内の妊娠中から18歳未満の子どもがいる家庭の経済的負担の軽減と、声かけ・見守りによる地域でのコミュニケーションを高め、子育てを地域社会が一体となって支援する。具体的には、パスポートカードを協賛店に提示し、店独自のサービス提供やイベントの実施とともに商店街の活性化を図る。</p> <p>725千円（事業実施委託料）</p>
10	<p>多摩区こども総合支援に係る情報収集・発信事業</p> <p>1,562千円 【こども支援室】</p>	<p>子育て家庭のニーズに応じて、多様な情報提供を行うことで、親の育児不安の軽減及び地域子育て支援体制へつなげる機会とする。また、広報面での団体支援を行うとともに、区民や地域団体と協働で地域情報の積極的な収集・発信を行うことで、市民活動支援・コミュニティの活性化を目指す。</p> <p>1,562千円（印刷製本費851千円、事業実施委託料681千円、消耗品費30千円）</p>
11	<p>多摩区こどもの外遊び事業 ※区民会議関係</p> <p>800千円 【こども支援室】</p>	<p>生活環境や家族のあり方、ライフスタイルの変化に伴い、子どもを取り巻く環境も変化していることから、運動場や公園等の広場、周辺にある自然環境の中で子どもの創造力を培う「こどもの外遊び」を推進し、子どもの知育や子育てを楽しむ場を地域でつくることを目的とする。</p> <p>800千円（事業実施委託料）</p>

12	幼児の発達支援事業 1,700千円 【児童家庭課】	「ことばが遅い」「多動」「こだわりが強い」など精神及び社会性の発達に関する不安や育てにくさを感じている幼児と保護者に対し、子どもの発達を促す支援と保護者の育児不安及び育児負担に軽減を図るよう支援を行う。 1,700千円（謝礼金1,618千円、保険料53千円、消耗品費29千円）
13	生きがいと楽しさを持てる子育て交流支援事業 1,378千円 【児童家庭課】	地域の方々と共に、子育て中の親子が気軽に集まれる場を開催し、集団遊びやグループワークをとおして子育ての楽しさを体験する。また、子育て中の親子の交流や地域の方々との交流を推進する。各種乳幼児健康診査・相談、予防接種等の各種場面で充実した育児支援を実施するために保育士、ボランティアを配置し、親子共に安心、安全に受診及び相談のできる環境を整備する。 1,378千円（謝礼金1,344千円、消耗品費34千円）
14	たまたま子育てまつり開催事業 469千円 【生涯学習支援課】	多摩区で安心して子育てができる地域の環境づくりを進めるために、子育て支援団体・市民グループ・関係行政機関等の協働で多彩な子育てまつりを開催する。情報ひろば・親子で遊べる機会・子育て相談・子育てサークルの活動紹介などの各種イベントや情報提供などを内容とし、総合的な区民の交流できる場・学びの場とする。 また、子育て支援及び生涯学習の推進を目的として、子育て中の保護者を対象とした「子育てをテーマにした講演会」を別途開催し、子育ての諸問題を考えてもらうための学習の機会を提供する。 469千円（負担金）

IV 環境まちづくり事業費 542千円

(◎は新規事業、○拡充事業)

1	カーボン・チャレンジ川崎エコ戦略関連事業 350千円 【企画課】	多摩区エコロジーライフ事業として、市民活動団体などとの協働により、区民がエコロジー（自然環境保護、地球温暖化防止）を、家庭（日常生活・ライフ）で身近に取り組める地球温暖化対策を紹介し、取組を推進する。 350千円（事業実施委託料322千円、消耗品費28千円）
2	水辺の愛護活動事業 192千円 【地域振興課】	市内はもとより、他都市からも多くの人々が訪れる歴史的な環境資源である二ヶ領用水を育み、憩える緑豊かな水辺の空間づくりに寄与するとともに、区民の環境愛護活動を推進するため、町会・自治会、商店街、子ども会、市民団体、学校、事業者で河川敷のごみ回収など、清掃・愛護活動を協働で実施する。 192千円（消耗品費177千円、郵便料15千円）

V 地域資源活用事業費 24,194千円

(◎は新規事業、○拡充事業)

1	観光振興・タウンセールス推進事業 6,917千円 【地域振興課】	多摩区を豊かな自然や文化財と身近で触れ合える新しい観光エリアとして広報宣伝し、区のイメージアップを図りながら観光客の誘致に努めるため、多摩区観光推進協議会と連携し、区の魅力を市内内外に積極的にアピールしながら、集客力の向上、交流人口の増加、地域の盛り上がりにつなげる取組を進め、住み良い、賑わいと魅力あるまちづくりを推進する。 6,917千円（事業実施委託料5,940千円、臨時的任用職員賃金977千円）
2	「音楽のまち・かわさき」多摩区事業 3,263千円 【地域振興課】	市の重要施策である「音楽のまち・かわさき」を推進するため、区民に音楽芸術に身近に触れる機会を提供するとともに、併せて多摩区の魅力をアピールすることを目的とし、音楽によるさらなる地域交流の促進と地域資源を生かした文化活動の活性化を目指す。 3,263千円（事業実施委託料3,103千円、使用料及び賃借料100千円、消耗品費37千円、印刷製本費13千円、郵便料10千円）
3	里地里山の保全活動事業 850千円 【地域振興課】	自然の豊かさや大切さを体験してもらうことを目的に区内の青少年をはじめ区民に大小様々な森と触れ合う機会を提供するため、生田緑地を中心とした身近にある森で「自然体験のつどい」を実施する。 850千円（事業実施委託料）

4	ミニ水族館の維持管理 756千円 【地域振興課】	多摩区役所を安らぎと潤いのある環境にし、郷土の多摩川をより身近に感じてもらうため、多摩川に生息する魚類を総合庁舎1階に設置した水槽で飼育し、ミニ水族館として来庁する区民向けに展示する。 756千円（保守委託料）
5	郷土芸能推進事業 100千円 【地域振興課】	かけがえのない貴重な資源である多摩川を多くの人に親しんでいただき、関心を持ってもらうために、多摩川流域に根付き伝承されている郷土芸能を一同に集めた多摩川流域郷土芸能フェスティバルを開催する。 100千円（負担金）
6	多摩区・3大学連携事業 2,525千円 【企画課】	区内3大学（専修、明治、日本女子）と多摩区役所で構成する「多摩区・3大学連携協議会」を通して大学と地域の交流連携を図るとともに、地域の様々な課題の解決に向けて、大学の研究と連携した取組を実施する。 2,525千円（事業実施委託料2,210千円、会場使用料他291千円、消耗品費24千円）
7	多摩区スポーツ推進事業 ◎ 783千円 【地域振興課】	気軽にスポーツを楽しむことができる行事を開催し、スポーツに親しむ機会の提供と、優れたスポーツ選手との交流などを通じて、地域のスポーツ活動の促進を図る。 783千円（事業実施委託料）
8	観光振興・タウンセールス推進事業（局区連携事業） 9,000千円 【地域振興課】	地域資源の豊富さを活かし、観光という視点で地域を活性化する事業を区民との協働により展開し、区民を主体とした地域の盛り上げにつなげていく。関係局との連携や専門的な知識やノウハウの活用により、効果的・効率的に区民との協働による事業展開を図る。 9,000千円（事業実施委託料）

VI 地域コミュニティ活性化推進事業費 15,503千円 (◎は新規事業、○拡充事業)

1	地域コミュニティの活性化促進事業 ○ 1,893千円 【地域振興課】	未加入世帯の増加、町会・自治会役員の後継者難といった各町会・自治会の抱える課題を的確にとらえ、その解決のための支援策について検討、実施することにより、町会・自治会活動の振興、地域コミュニティの活性化をはかる。 1,893千円（事業実施委託料）
2	多摩まちかど祭開催事業 800千円 【地域振興課】	区内相互のふれあいと地域の活性化を目指して、区民一人ひとりが舞台運営の担い手となるステージショーを区民祭の会場で開催して、心温かい地域コミュニティの形成に役立てる。 800千円（事業実施委託料）
3	まちづくり推進事業 4,996千円 【地域振興課】	区内の市民活動団体のまちづくりに関する活動に対する支援、並びにまちづくりに関する課題の提起及びその解決のための実践を、区民が主体となって区と協働して行う。 4,996千円（事業実施委託料）
4	市民活動支援事業 3,754千円 【地域振興課】	地域課題解決に向けた市民活動団体による活動が活発に行われる中、区民が自発的、継続的に参加し、第三者や社会の課題解決に貢献する営利を目的としない活動の、自発的かつ自立的な発展を支援するために、印刷や資料づくり等に必要の備品等を備えた「多摩区民活動・交流センター」を多摩区総合庁舎及び生田出張所に設置し、登録した団体及び個人に対し、利用開放する。運営にあたっては、利用受付業務を区民活動・交流センターの利用団体を主体とする運営委員会と協働で行い、団体間の交流と相互支援を促進する。 3,754千円（使用料及び賃借料1,815千円、消耗品費1,250千円、事業実施委託料540千円、郵送料111千円、印刷製本費38千円）

5 ◎	地域課題解決につながる地域人材育成事業 1,560千円 【生涯学習支援課】	「地域人材の発掘や育成に向けた取組」が謳われている第4次行財政改革プランに基づいて、区内の地域社会に多岐にわたる地域課題を市民の活力によって解決をめざす既存の事業展開を、さらに発展的な解決を図ることを目的として、地域人材の育成を区内で総合的に推進する。特に多摩区では若年層からシニア世代までを対象として地域人材育成に取組み、地域課題解決の担い手の発掘・輩出を推進する。 1,560千円（事業委託料1,553千円、消耗品費7千円）
6	公園を拠点としたコミュニティづくり推進事業 （局区連携事業） ※区民会議関係 2,500千円 【企画課】	第2期区民会議での提言を踏まえ、高齢社会への対応や子育て世代への支援策のひとつとして、区民の主体的な参加により、公園を今まで以上に地域のコミュニティの拠点とするよう、事例調査や活性化のための検討、モデル事業の実践、区民への情報発信を図ることを目的とする。25年度は、24年度に引き続き、「公園を拠点としたコミュニティづくり推進委員会」により、公園を利用したモデル的なイベントを実施する。 2,500千円（事業実施委託料2,420千円、謝礼金80千円）

Ⅶ 区役所サービス向上事業費 1,548千円 (◎は新規事業、○拡充事業)

1	窓口サービス改善推進事業 1,548千円 【区民課】 【総務課】	平成16年、区民課においてISO認証取得後、市民の求める質の高い窓口サービスを継続的に維持していく必要があり、そのための窓口環境整備費用としてスタートした。更に現在では、平成23年度末の「川崎市区役所サービス向上指針」の改定に伴い、市民に便利で快適なサービスの効率的、効果的かつ総合的な提供を図り、区を挙げての市民の視点に立った区役所サービスの向上に資する内容となっている。 1,548千円（備品購入費1,170千円、消耗品費他378千円）
---	---	---

Ⅷ 地域課題対応事業その他経費 5,362千円 (◎は新規事業、○拡充事業)

1	磨けば光る多摩事業 2,203千円 【企画課】	多摩区における地域課題の解決や、安全で安心・潤いのある暮らしの実現に向けて、市民活動団体が自主的、主体的に実施する公益性の高い活動提案を募集し、選定されたものを川崎市の事業として位置付けたうえで、提案者に委託する。 2,203千円（事業実施委託料2,100千円、謝礼金88千円、消耗品費7千円、郵便料6千円、食糧費2千円）
2	緊急対応経費 2,362千円	緊急課題や区民の要望に対応すべき事業のための予備費 2,362千円（事業実施委託料）
3	共通事務経費 797千円	地域課題対応事業費の共通事務経費 797千円（消耗品費他）

（歳入）

Ⅲ-10 多摩区子ども総合支援に係る情報収集・発信事業 印刷物広告料 25,000円（充当先：多摩区役所管理運営費）

Ⅵ-4 市民活動支援事業 印刷機使用料 600,000円（充当先：地域課題対応事業費）

【参考】

※平成23年度地域課題対応事業費決算額	47,439,207円（局区連携事業含まず）
※平成22年度協働推進事業費決算額	39,752,309円
※平成21年度協働推進事業費決算額	43,681,392円
※平成20年度協働推進事業費決算額	44,451,522円
※平成19年度協働推進事業費決算額	48,341,603円
※平成18年度協働推進事業費決算額	43,394,959円
※平成17年度魅力ある区づくり推進事業費決算額	45,792,352円
※平成17年度魅力ある区づくり推進事業費決算額	47,455,064円